

七面山に参詣してきました。

産業開発青年隊同窓会 会長 鈴木 浩明

5月14日、15日、七面山に参詣してきました。天気予報では、天候は最悪でしたが、予想に反して、14日は、薄日がさし、登山には最適な状況でした。帰りは、よい天気です。暑いぐらいでした。また、ご来光も拝むことができ、驚きの連続でした。これも、神仏の思し召しでしょうか？

ご来光の時、富士山を眺めながら、様々なことを思い巡らせました。富士山のご祭神は、コノハナサクヤヒメそして、太陽神は、アマテラスオオミカミ、その天孫がコノハナサクヤヒメの夫神のニニギノミコト。

太陽は、世界中を照らし、恵みをもたらす。これが日の本の由来なのだろうか？だから、富士山は世界に誇れる山となり、平和のシンボルとなったのだろうか？

日蓮聖人も吉田口、五合五勺の天と地の境に百日間参籠、そして、法華経を納経され国家安穩を祈願されました。その地は、富士山経ヶ岳と呼ばれています。そして、9月19日の七面山の大祭の時には、その富士山経ヶ岳より、ご来光が昇ります。

今、世の中は、混沌とし、いつどのような状況になるかわからない時代になりました。そのような状況のなかで、一般市民である私には、なにができるのかを考えました。

私にできることは、困っている人があれば、慈しみの気持ちで手をさしのべることだと思っています。私も、多くの方々に助けていただき、今も助けていただいています。しかし、現実には、詐欺が氾濫し、騙されることも裏切られることも多い状況であるのも事実だと思います。しかし、それでも、人を憎まらず、おろおろしながらも、懸命に生きることに、それが今私にできることだと思います。

私一人の力では、どうしようもできないことも多々ありますが、おかげさまの気持ちを忘れず歩ませていただきたいと思います。

目に見えぬ力を信じ、その思し召しの通り、生かしていただくことだと感じました。

清々しい、2日間でした。



七面山は、標高約2000mの山です。七面山敬慎院までは、徒歩か、かごに乗るか、ヘリコプターに乗るかの出れ下になりますが、修行のお山ですので皆さん、自分の御足で登られます。



七面山の上り口にある、白糸の滝と、養珠院お万の方様の銅像  
白糸の滝で滝行を行われる方も多いです。



頂上の一の池。流入する側はありません。湖面に周りの風景が写り大変神秘的な美しさがあります。



ご来光はあきらめていましたが、拝むことができました。



資材や、荷物はケーブルカーで運びます。



ぼつんと一軒家を見ていた方には懐かしい36丁のお姉さん。